

2022年2月3日

各 位

会社名 日本郵船株式会社
代表者名 代表取締役社長 長澤 仁志
コード番号 9101
上場取引所 東証第一部
問合せ先 IRグループ長
下村 修一郎
(TEL:03-3284-5151)

2022年3月期 業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年11月4日に公表した2022年3月期の通期連結業績予想及び期末配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 通期連結業績予想の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に帰属 する当期純損益	1株当たり 当期純損益
前回発表予想（A） （2021年11月4日発表）	百万円 2,000,000	百万円 220,000	百万円 710,000	百万円 710,000	円 銭 4,202.88
今回修正予想（B）	2,200,000	265,000	930,000	930,000	5,505.46
増減額（B－A）	200,000	45,000	220,000	220,000	
増減率（％）	10.0%	20.5%	31.0%	31.0%	
（ご参考）2021年3月期実績	1,608,414	71,537	215,336	139,228	824.55

※業績予想の前提

為替レート （通期）111.48 円/米ドル

燃料油価格 （通期）519.53 米ドル/MT （注1）

修正の理由：

サプライチェーンの混乱が続く中、旺盛な貨物需要等による好市況の継続を受け、定期船事業における当社持分法適用会社 OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD.の業績は想定を上回るレベルで推移しており、航空運送事業及び物流事業でも引き締まった需給が続いております。不定期専用船事業においても、自動車船の輸送台数回復とハンディサイズバルカーを主としたドライバルクの堅調な市況に支えられ、業績予想を上方修正しました。

（注1）適合油を含む全油種平均消費燃料油価格を基に算出

2. 2022年3月期 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (注2)	円 銭 200.00	円 銭 600.00	円 銭 800.00
今回修正予想		1,000.00	1,200.00
当期実績	200.00		
2021年3月期実績	20.00	180.00	200.00

修正の理由：

当社は、株主の皆様への安定的な利益還元を経営上の最重要課題の一つとして位置付け、連結配当性向 25%を目安とし、業績の見通し等を総合的に勘案し利益配分を決定しています。合わせて、業績の変動に左右されない最低限の配当を継続することを基本とし、1株当たり年間20円を当面の下限金額としています。当事業年度（2022年3月期）の中間配当金は1株当たり200円を実施しました。期末配当金については、現時点では、前回予想と比較して1株当たり400円の増配とし、1株当たり1,000円を予想し、年間配当金は1株当たり1,200円とする見通しです。今後の自己株式取得については継続した検討課題ですが、2021年度の利益に対する最終的な株主還元案については、業績の確定を踏まえ、本年5月の取締役会にて、決議を予定しています。

(注2) 昨年11月4日公表の内容です。

以 上